

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実					担当課	自己評価
						博物館	A
取 組 状 況	展示を通じて市民の学習活動を支援。講座の実施。ICTを活用した情報提供						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	常設展示室の段階的なりリニューアルの工事实施						
令 和 5 年 度 実 績	常設展示のリニューアル工事は実施できなかったが、令和4年度に実施した展示室の仕様変更を活かして月ごと・季節ごとの展示替えや、新規指定文化財の企画展、むかしのくらしと道具展のフルスペックでの再開などの取り組みを行った。						
指 標 及 び 説 明	【指標】 博物館観覧者数				【説明】 学習機会の充実度を判断		
指 標 の 推 移	単位	指 標 の 推 移	単位				指 標 の 推 移
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		23,027	平時	平時			
		R 2 有事					
		5,122	20,369	23,989			
自 己 評 価 の 主 な 理 由	4年振りに体験要素を復活させたむかしのくらしと道具展が好評であり、観覧者数の増加につながった。						
課 題 及 び 改 善 点	常設展示室の段階的なりリニューアルの工事实施						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実					担当課	自己評価
						図書館	A
取 組 状 況	魅力ある図書館づくりを目指して、地域情報拠点機能の充実を図りながら、各世代の利用促進事業の充実に努めた。また、電子図書館サービスについて、来館の少ない10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に努めた。						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	入館者数について、更なる増加に努めること。また、電子図書館について、10代後半の利用が少ないことから、周知し利用増に努めること。						
令 和 5 年 度 実 績	・入館者数 541,667 人 ・国立国会デジタル化資料送信サービスへの参加開始によるレファレンスサービスの充実 ・移動図書館車の定期巡回(25 か所)や青少年活動センターのイベント参加(令和5年度新規事業)による資料の提供や宮寺配本所おはなし会による地域情報拠点機能の充実 ・いるまし電子図書館による電子書籍の提供(蔵書冊数3,277 点) ・季節や時事問題等に合わせたテーマ本の展示 ・ビブリオバトル(参加者13 人)や俳句ポスト等による利用促進事業の開催 ・読み聞かせ事業の運営に関わるボランティアを対象とした研修会の開催(全2回 参加者延べ62 人) ・本館閲覧席開放事業の継続(1 日平均16.85 人)						
指 標 及 び 説 明	【指標】 入館者数				【説明】 図書館入館者数より学習機会提供の充実度を判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		638,659	平時	平時			
		R 2 有事					
		341,039	500,396	541,667			

自己評価の主な理由	・入館者数については、前年度比 41,271 人で増加した。 ・レファレンスサービスでは、国立国会デジタル化資料送信サービスへの参加を開始することなどで充実を図った。 ・移動図書館車の運行では、定期的な巡回に加え、青少年活動センターのイベントに参加することで貸出や新規利用者登録を行い、学習機会の提供を図ることができた。また、宮寺配本所ではおはなし会や蔵書の入れ替えを実施し、宮寺・二本木地区の地域情報拠点機能の充実を図った。 ・電子図書館では、小説や実用書を中心とした蔵書の追加を行い、利用に供することができた。 ・テーマ本の展示では、関係各課とも連携を図りながら、「お茶に関する本」「パープルリボン運動関連図書」「人生会議関連図書」等の展示を行うことができた。 ・利用促進事業では、主に分館で「ビブリオバトル」や「俳句ポストの設置」等を行い充実を図ることができた。本館では、図書館まつりや本の福袋（令和5年度新規事業）を実施した。 ・読み聞かせ事業に関わるボランティア育成では、「読み聞かせの基本」と「科学絵本について」の全2回の研修会（令和5年度新規事業）を行い、学習機会の提供を図ることができた。 ・本館の閲覧席開放事業を引き続き行い、学生や社会人に学習機会の提供を図ることができた。
課題及び改善点	入館者数について、さらなる増加に努める。また、電子図書館について、10代後半の利用が少ないことから、周知し利用増に努める。

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P22

主 な 取 組	学習の機会提供の充実					担当課	自己評価	
						社会教育課（公民館）	B	
取 組 状 況	暮らしを豊かにし、地域を活性化する学びの提供。住民の主体的な学びの支援。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	公民館基本計画で掲げた10の現代的課題のうち9つのテーマは、多くの公民館で実施できたが、障害福祉については、全ての公民館が取組めていないため、関係機関等との連携により、事業を企画していく。							
令 和 5 年 度 実 績	健康づくり、子育て、安心安全な暮らし、高齢社会、環境問題、人権問題、障害福祉、貧困問題、情報格差、伝統文化の継承をテーマとした学習事業を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】公民館基本計画で掲げた10の現代的課題をテーマとした学習事業の実績					【説明】10の現代的課題をテーマとした学習事業バランスよく実施できたか否かで判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	テーマ	R1平時	R4 平時	R5 平時	R6	R7	R8	R8平時
		8						10
		R2有事	9	9				R8有事
		4						5
自 己 評 価 の 主 な 理 由	公民館基本計画で掲げた10の現代的課題のうち9つのテーマは、地区センター移行後も多くの公民館で実施できたが、障害福祉については、全ての公民館が取組めていない。							
課題及び改善点	実施できていない障害福祉をテーマとした学習事業について、関係機関等との連携により、事業を企画していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	資料の収集・提供				担当課	自己評価		
					博物館	A		
取 組 状 況	市民や関係団体と連携しながら資料を収集整理し、保存・情報提供。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	資料分野に対応した専門性を持つ学芸員の不足による業務の遅延。							
令 和 5 年 度 実 績	登録資料のうち区分が公開のものは今年度 <u>54,562</u> 件（暫定）となっている。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 資料公開件数				【説明】 資料の収集・提供の充実度を判断			
	単位	現状値	実 績 値					目標値
指 標 の 推 移	件	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		46,877						53,900
		R 2 有事	52,655	<u>54,562</u>				R 8 有事
		47,737	暫定	暫定				－
自 己 評 価 の 主 な 理 由	登録資料のうち、長年収蔵してきたが展示公開していなかった資料を、「むかしのくらしと道具展」において、文字通り「蔵出し」することで、市民に見て楽しんでもらうことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	資料分野に対応した専門性を持つ学芸員の不足による業務の遅延。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	資料の収集・提供				担当課	自己評価		
					図書館	A		
取 組 状 況	市民ニーズや現代的・社会的課題に対応した市民の学習活動を支援するため、資料の収集・提供を行った。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	限られた書架を魅力あるものとして維持するため、資料の適切な除籍を行うとともに、資料保存スペースを確保する必要がある。							
令 和 5 年 度 実 績	・ 図書等購入点数 一般書 約 6,600 冊、児童書 約 3,500 冊、参考図書 約 200 冊、 大活字本 約 100 冊、視聴覚資料 約 90 点 ・ 資料所蔵点数 583,599 点（このうち郷土資料 14,725 点） ・ 貸出点数 692,186 点 ・ 視覚障害者向け録音図書（デイジー図書）作製点数 4 点 ・ 雑誌スポンサー制度による寄贈 35 タイトル							
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館資料の所蔵点数				【説明】 図書館資料の所蔵点数により、資料の収集・提供の充実を判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	点	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		579,430	平時	平時				600,000
		R 2 有事	587,302	583,599				R 8 有事
		582,693						600,000
自 己 評 価 の 主 な 理 由	・ 資料の充実については、適切な選書により新刊及び寄贈資料からの受入れを行い、さらに資料の除籍を行うことで資料の更新を行った。 ・ 図書については、市民からのリクエストにできる限り応えるために相互貸借制度も活用し、提供に努めた。また、郷土資料、乳幼児やティーンズ（中高生）向けの資料、多文化サービスに対応した資料など様々な分野から選書し、計画的な資料の収集と蔵書管理を行った。							
課 題 及 び 改 善 点	子どもの読書推進のための児童書や調べ学習用の図書を購入するとともに、資料の適切な除籍を行い、資料保存スペースを確保する必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	資料の収集・提供					担当課	自己評価
						社会教育課（公民館）	A
取 組 状 況	地域を活性化するための情報提供						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	すべての公民館が公民館だより等で地域情報を発信した。また、団体紹介コーナーを設置した。公民館だより等で発信する地域情報量が少ない。4月からは9センターの「地区センターだより」で、内容及び情報量を高めていく。						
令 和 5 年 度 実 績	地域を活性化するために、9地区センターだより、掲示板やSNS等様々なメディアを通じて地域情報を発信した。						
指 標 及 び 説 明	【指標】 9館の地区センターだよりの発行回数			【説明】 地区センターだより（ホームページへの掲載含む）で判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		156	平時	平時			
		R 2 有事					
		156	156	108			
自 己 評 価 の 主 な 理 由	地区センター化に伴い、4分館では地区センターだよりを作成せず、所管する地区センターで分館の地域情報を発信したため、発行回数は減少した。しかしながら、内容は密度の濃いものとなり、内容の充実が図られた。						
課題及び改善点	地区センター2年目となり、更なる内容の充実及び情報量を高めていく。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供					担当課	自己評価
						博物館	A
取 組 状 況	ホームページ、SNSでの情報発信、メディア対応、指定管理者との連携で情報発信						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	より多くの市民に情報が届くよう、指定管理者とも協働で発信に努める。						
令 和 5 年 度 実 績	令和5年度のホームページアクセスは350,831件。X（旧ツイッター）フォロワー764件。フェイスブックフォロワー486件。西洋館フェイスブックフォロワー861件。指定管理者X（旧ツイッター）フォロワー675件、Instagramフォロワー166件、公式YouTubeチャンネル登録者102件						
指 標 及 び 説 明	【指標】 ホームページアクセス件数、SNS 登録者数			【説明】 情報の提供の浸透度合いを判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				指 標 の 推 移
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		356,926	平時	平時			
		R 2 有事					
		305,458	371,372	353,885			
自 己 評 価 の 主 な 理 由	ホームページへのアクセス数は前年に及ばなかったがSNSでの発信では一つの投稿で閲覧数が3万回を超えるものもあり、来館者の増加につながる情報の発信ができた。						
課題及び改善点	より多くの市民に情報が届くよう、指定管理者と連携して効果的な発信に努める。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供				担当課	自己評価		
					図書館	A		
取 組 状 況	図書館資料の最新情報等を図書館ホームページ、図書館だより、広報いるま等のさまざまな方法により、市民に正確かつ迅速に伝えることに取り組んだ。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	図書館からの一方的な情報発信だけでなく、発信により市民同士あるいは市民と行政・民間業者がつながり、課題解決する仕組みを作り、実践していく必要がある。							
令 和 5 年 度 実 績	・ 図書館ホームページアクセス数 約 501,941 件 ・ 図書館公式LINEアプリ総登録者数 537 人 ・ 広報いるま「あつまれ！いるまぐみ」に子どもを対象としたイベントを掲載 ・ FM茶笛及び入間ケーブルテレビへの出演による図書館情報の提供							
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館ホームページへのアクセス数				【説明】 図書館ホームページへのアクセス数により、社会教育に関する情報提供の浸透度合いを判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		旧システムのため不明	平時	平時				80,000
		R 2 有事	17,608	501,941				R 8 有事
		旧システムのため不明	(1月～3月)					80,000
自 己 評 価 の 主 な 理 由	・ 図書館ホームページについては、イベント情報を掲載しているほか、資料の検索や予約、返却お知らせメール登録やMY本棚機能等の便利な機能があるため、多くのアクセスがあった。 ・ 広報いるまの誌面が刷新されたが、引き続き図書館の情報を掲載することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	図書館ホームページについて、最新情報を掲載し、利用者に様々な情報を周知していくことでアクセス数を増加させる。また、図書館公式LINEアプリの周知にも努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供					担当課	自己評価	
						社会教育課（公民館）	B	
取 組 状 況	学習情報の提供							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	コロナ禍により回覧ができない状況が続いたため、地区センターだよりの配付・掲示方法を検討していく。							
令 和 5 年 度 実 績	地区センター（公民館）だより、掲示板やSNS等、様々なメディアを通じて学習情報を発信した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 ホームページへのアクセス件数				【説明】 社会教育に関する情報の情報提供の浸透度合いを判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		583,754						632,000
		R 2 有事	562,671	615,790				R 8 有事
511,794	592,000							
自 己 評 価 の 主 な 理 由	ホームページへのアクセス件数は、615,790 件であった。（R5：562,671 件）							
課 題 及 び 改 善 点	地区センター（公民館）だよりの回覧が復活したが、SNSやホームページを通じてより幅広い層に情報発信していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供				担当課		自己評価	
					青少年活動センター		A	
取 組 状 況	広報チラシの月次発行、ホームページ、SNSによる情報提供							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	施設利用・事業参加の促進を図るためにインターネットの更なる活用が必要。							
令 和 5 年 度 実 績	チラシの発行回数の増、SNS及び市公式ホームページの更新頻度を上げた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】年間来所者数				【説明】利用者の変化をPR効果と捉える			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		25,490						38,000
		R 2 有事	16,000	21,176				R 8 有事
		7,625						9,000
自 己 評 価 の 主 な 理 由	ホームページ、SNSを活用し、PRに取り組めた。							
課題及び改善点	小中学校生徒に情報提供するための新たな手法を調整・検討し、効果的な情報発信に取り組む。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

施 策	(1) 社会教育事業の充実			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学習機会提供の充実	博物館	A	A
		図書館	A	
		社会教育課（公民館）	B	
	資料の収集・提供	博物館	A	
		図書館	A	
		社会教育課（公民館）	A	
	社会教育に関する情報の提供	博物館	A	
		図書館	A	
		社会教育課（公民館）	B	
青少年活動センター		A		
学 識 経 験 者 意 見 等	博物館においては、来館者の増加、資料公開の増加などにつながる様々な工夫が見受けられ、大変素晴らしい取組みだと考えます。また、多様な方法で情報発信に力を入れている点も評価できます。一方で、「資料の収集・提供」の改善点に前年度から引き続き記載されているように、専門性をもつ学芸員の充実は博物館の運営全般にとって急務であると考えます。本市において、人材確保の前向きな検討を期待しています。また、常設展示室のリニューアル工事について、予算面での課題等もあるとは思いますが、今後の計画的な実施を期待します。 図書館においては、移動図書館車の運行に関し、青少年活動センターのイベントと連携することで資料の貸出等を促せたことについて良好な取組みだと考えます。また、ビブリオバトルや本の福袋など、利用促進をはかる多様な企画が実施されたことを評価します。電子図書館サービスについては、10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に取り組んだ点は評価できると考えます。これを踏まえ、10代後半の利用者を増やす周知・取組み等に期待します。また、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」についても周知を行い、多様なレファレ			

	ンスに供することを期待します。なお、上述の学芸員の配置とも重なりますが、図書館においても専門職員の充実が、その業務の円滑な遂行に必要不可欠だと考えます。本市において、司書有資格者の継続的配置及びさらなる増員について、前向きに検討していただきたいと思います。 公民館においては、公民館基本計画で掲げた現代的課題 10 テーマのうち 9 実施できたのは大変評価できます。実施がかなわなかった障害者福祉も含め、引き続き幅広い事業の企画を期待します。
--	---

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第 1 項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域教育力の向上

【第 3 期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実				担当課	自己評価		
					図書館	A		
取 組 状 況	ブックスタート関連事業を中心とした子育て支援策を検討するとともに、「おはなし会」や「おたのしみ会」など親子で参加することで、より本に親しめるような事業を通して、子育て、家庭教育力の向上に取り組んだ。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	ブックスタート事業について、引き続き予算確保に努める。							
令 和 5 年 度 実 績	・ブックスタート関連事業として、赤ちゃん向けブックリストを作成、配布（約 800 部） ・「おはなし会」の実施（全館で 284 回） ・本館での「赤ちゃんおはなし会」の開始（月 1 回） ・「おたのしみ会」の実施（全館で 4 回 参加者 220 人）							
指 標 及 び 説 明	【指標】 子育て・家庭教育事業の実施回数				【説明】 乳幼児の保護者を支援する「おはなし会」事業実施回数により、支援の充実度を判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		349						350
		R 2 有事	230	284				R 8 有事
		72						80
自 己 評 価 の 主 な 理 由	・ブックスタート関連事業については、感染症対策のためBCG集団接種会場に出向いて行うことはできなかったが、赤ちゃん向けブックリスト「絵本のある子育て」を作成し、配布した。 ・おはなし会については、コロナ禍では会議室等で行っていたが、館内での実施を再開した。各館で、ボランティアの協力を得ながら、親子で参加する内容を多くすることで、乳幼児の親を支援する事業の充実を図った。 ・コロナ禍で中止または縮小していた「おたのしみ会」を通常開催とし、多くの親子に参加してもらい、事業の充実を図ることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	ブックスタート関連事業について、実施方法を検討するとともに、「おはなし会」参加者の増加に努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							社会教育課（公民館）	A
取 組 状 況	地域ぐるみの子ども・子育て支援の促進							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	13 館すべての公民館で子育て・家庭教育支援事業を共催等で実施した。 事業の内容の充実に努めていく。							
令 和 5 年 度 実 績	子育て・家庭教育支援事業を共催等で実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 子ども・子育て支援事業の数				【説明】 事業数により支援の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		5	平時	平時				30
		R 2 有事	27	27				R 8 有事
		0						25
自 己 評 価 の 主 な 理 由	9 館すべての公民館及び 4 館の分館で子育て・家庭教育支援事業を共催等で実施した。							
課 題 及 び 改 善 点	4 館の分館を含め、事業の内容の充実に努めていく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	C
取 組 状 況	おやこ森あそび（小学校プレ世代向け事業）の実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムとPR改善を図る。							
令 和 5 年 度 実 績	9回開催							
指 標 及 び 説 明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		313	平時	平時				300
		R 2 有事	200	101				R 8 有事
		50						0
自 己 評 価 の 主 な 理 由	天候不良以外は当初の予定通り開催できた。							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラム開発とPR改善を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 4

主 な 取 組	小中学校の親を支援する事業の充実					担当課	自己評価	
						社会教育課	A	
取 組 状 況	PTA 活動の活性化を図るため、家庭教育学級の企画運営、PTA 広報紙発行の支援を行う。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	コロナ禍により P T A 組織の中で、家庭教育学級を担当する組織が減少している。活動を継続していけるよう、回数の下限設定を決めないなど支援していく。							
令 和 5 年 度 実 績	可能な範囲で家庭教育学級を実施し、昨年度より実施回数が増加した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 家庭教育学級実施回数					【説明】 家庭教育学級を実施した回数		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	家庭教育学級を実施した回数	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		0						78
		R 2 有事	66	67				R 8 有事
		33						52
自 己 評 価 の 主 な 理 由	昨年度と同様の実施回数となり、給食試食会などコロナ前の家庭教育学級の人気講座が復活し、多くの保護者の参加があった。							
課 題 及 び 改 善 点	仕事を持つ母親の増加により、家庭教育学級を担当する組織が減少している。活動を継続していけるよう、家庭でできる家庭教育学級や SNS の活用により負担軽減を図っていく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	小中学校の親を支援する事業の充実				担当課		自己評価	
					社会教育課（公民館）		B	
取 組 状 況	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を 13 館中、7 館の公民館が実施した。 実施できていない公民館では、夏休みや土日を利用して親子一緒に取り組む事業を計画する。							
令 和 5 年 度 実 績	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】体験事業の数				【説明】事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		9	平時	平時				9
		R 2 有 事	7	7				R 8 有 事
		5						7
自 己 評 価 の 主 な 理 由	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を 13 館（4 分館含む）中、7 館の公民館が実施した。							
課 題 及 び 改 善 点	実施できていない公民館では、夏休みや土日を利用して親子一緒に取り組む事業を計画する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	小中学校の親を支援する事業の充実					担当課	自己評価
						青少年活動センター	C
取 組 状 況	親子体験事業を実施						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症等の影響を受けずに実施可能な事業の検討と多様な協力者・講師等の開拓。						
令 和 5 年 度 実 績	2事業 3回開催						
指 標 及 び 説 明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による支援数		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		0	平時	平時			R 8 平時
		R 2 有事	0	37			R 8 有事
		0					0
自 己 評 価 の 主 な 理 由	施設の特徴を生かした事業を実施したものの、参加者増につながらなかった。						
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムの開発とPR改善を図る。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進					担当課	自己評価
						博物館	A
取 組 状 況	ボランティアとの連携事業、博学連携による博物館授業の実施						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	オンラインによる情報の提供方法について、より効果的な手法を検討していく必要がある。また、ボランティアとの連携においては、スタッフの減少が事業実施の課題となっている。						
令 和 5 年 度 実 績	市内外小学校、市内中学校等延べ 66 校 4,691 人に博物館授業、オンライン授業を実施。						
指 標 及 び 説 明	【指標】 学校・家庭等と連携した事業数				【説明】 学校・家庭等との連携の度合いを判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				指 標 の 推 移
	事業数	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		69	平時	平時			R 8 平時
		R 2 有事	57	66			R 8 有事
		5					20
自 己 評 価 の 主 な 理 由	市内全校の博物館授業だけでなく他県からの要請によるオンライン授業の実施、ボランティア会の協力による事業の再開により、賑わいを創出できた。						
課 題 及 び 改 善 点	オンラインによる情報の提供方法について、より効果的な手法を検討していく必要がある。またボランティアとの連携においては、新たなボランティア会員の確保が課題となっている。						

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進				担当課	自己評価		
					図書館	A		
取 組 状 況	関連する市民団体や他の行政機関と連携・協力した事業を実施し、読書活動の推進を図った。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	新たな連携先を模索することで、読書活動の推進を図る。							
令和5年度 実 績	・図書館利用教室の実施 小学2年生対象 実施数16校1,099人 ・図書館施設見学の実施 小学3年生対象 実施校15校1,035人（1校は前年度に実施済） ・図書館ボランティア育成のための研修会の開催（参加者17人） ・小・中学生向けのブックガイド「あれこれブックガイド」の発行及び健康観察アプリ「リーバー」での配信（小学生6,564人 中学生3,491人） ・小学生を対象とした「読書ラリー」の実施（参加者延べ682人） ・移動図書館車の小学校への定期的な巡回（8校） ・学童保育室や学校等への配本サービスの実施（定期団体35団体 約24,000冊） ・市内高等学校との連携会議の実施（1回） ・関係各課所との協力事業の実施（「平和祈念資料展」「入間市自然展」等で児童書の展示） ・茶の都出前講座「読み聞かせ講座」の実施（4回）							
指 標 及 び 説 明	【指標】学校・家庭・地域と連携した事業の実施数				【説明】学校・家庭・地域と連携した事業の実施数により、連携の度合いを判断する。 （図書館利用教室及び図書館施設見学）			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	校	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		31	平時	平時				32
		R2 有事	32	31				R8 有事
	0						-	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	・図書館利用教室と図書館施設見学を実施することで、学校と連携し、読書活動の推進を図ることができた。 ・「あれこれブックガイド」を発行し、健康観察アプリ「リーバー」を用いて市内全児童及び生徒に配信することで読書活動の推進を図ることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	学校図書館ボランティア研修会の参加者を増やすとともに、新たな連携事業を増やすことで、読書活動の推進を図る。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進	担当課	自己評価
		社会教育課(公民館)	B
取 組 状 況	地域ぐるみの子ども・子育て支援の促進		
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	世代間交流事業、地域交流事業等を計画・実施した公民館は7館(未実施6館) コロナウイルス感染拡大により、多くの地域交流事業が中止されたままになっている。新たな交流事業の企画も含めて、地域の関係団体等と事業を計画していく。		
令 和 5 年 度 実 績	世代間交流事業、地域交流事業等を住民や団体と共催等で実施した。		
指 標 及 び 説 明	【指標】世代間交流事業、地域交流事業等の数	【説明】事業数により充実度を判断	

指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		8	平時	平時				9
		R2有事 1	7	7				R8有事 7
自己評価の主な理由	世代間交流事業、地域交流事業等を計画・実施した公民館は7館（未実施6館）							
課題及び改善点	コロナ後も、多くの地域交流事業が中止されたままになっている。新たな交流事業の企画も含めて、地域の関係団体等と事業を計画していく。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】（2）家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進				担当課		自己評価	
					児童センター		A	
取 組 状 況	地域との連携を図るため、児童の健全育成を推進するボランティア会等と協働し、季節行事やクラブ・教室などを行っている。また、市内の様々な場所で子どもの遊ぶ環境を確保し、遊びを通じた活動を促進するため、遊び道具を積載するプレーカーを活用し、アウトリーチ事業を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	ボランティア会との協働事業は全ての事業を実施することができた。 プレーカーを使い児童センターから離れた全ての小学校で移動（出張）児童館を実施し好評を得ている。							
令 和 5 年 度 実 績	・移動（出張）児童館：プレーカーを活用し、市内の公民館や近隣の公園に出張し、地域の子どもたちに児童センターの事業の一部を提供する。23回（875人） ・出張天体観望会：近隣の施設や小学校に出張し、望遠鏡を使って季節の星や惑星・月を観測する。6回（159人） ・プレーカー貸出し事業：遊びを通じた活動等を行う市民団体を対象にプレーカーの貸し出しを行っている。18回							
指 標 及 び 説 明	【指標】設定困難				【説明】－			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	－	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 －	R 7 －	R 8 －	R 8 平時
		－						－
		R 2 有事	－	－				R 8 有事
		－						－
自 己 評 価 の 主 な 理 由	ボランティア会との協働事業はすべて実施することができた。また、地域のNPOや企業などとも連携し新たな事業を実施することができた。 プレーカーについても、出張児童館などを通じて、各地域に出向き遊びを展開することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	出張児童館については、効率的な人員配置と事業の見直しを図り、拡充していきたい。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進					担当課	自己評価	
						青少年活動センター	D	
取 組 状 況	むささび自習室スペシャルの実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症以降の事業のあり方を整理しつつ、内容についても見直しが必要。							
令 和 5 年 度 実 績	9回実施							
指 標 及 び 説 明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		247	平時	平時				250
		R 2 有事	150	54				R 8 有事
		0						0
自 己 評 価 の 主 な 理 由	事業内容に関する情報周知が弱く、事業参加者数に伸び悩みがあった。							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムの開発とPR改善を図る。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	団体支援の充実				担当課		自己評価	
					社会教育課（公民館）		B	
取 組 状 況	子育てサークル活動の場を提供するとともに、活動相談に応じる。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じた公民館は4 公民館 子育てサークルが減少している。親子で参加できる事業等を通じて仲間づくりを促し、子育てサークルの誕生を応援していく。							
令 和 5 年 度 実 績	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】子育て・家庭教育支援事業の数				【説明】事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R 1 平 時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		34						50
		R 2 有 事	48	48				R 8 有 事
		15						40
自 己 評 価 の 主 な 理 由	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じた公民館は4 公民館							
課 題 及 び 改 善 点	子育てサークルが減少している。親子で参加できる事業等を通じて仲間づくりを促し、子育てサークルの誕生を応援していく。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	団体支援の充実					担当課	自己評価	
						青少年活動センター	A	
取 組 状 況	社会教育団体への補助金交付							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	事業実施の継続性を確保し、活動の活性化を図ることが必要。							
令 和 5 年 度 実 績	1 団体（入間市子ども会育成会連絡協議会）に補助金を交付							
指 標 及 び 説 明	【指標】 会員数				【説明】 活動・事業実施の活動者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1,231	平時	平時				800
		R 2 有事	811	706				R 8 有事
		966						800
自 己 評 価 の 主 な 理 由	少子化による活動の停滞化に対応し、事業実施を担保できた。							
課題及び改善点	事業実施の継続性を確保し、活動の活性化を図ることが必要。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

施 策	(2) 家庭・地域の教育力の向上			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	乳幼児の親を支援する事業の充実	図書館	A	B
		社会教育課（公民館）	A	
		青少年活動センター	C	
	小中学校の親を支援する事業の充実	社会教育課	A	
		社会教育課（公民館）	B	
		青少年活動センター	C	
	学校・家庭・地域の連携の促進	博物館	A	
		図書館	A	
		社会教育課（公民館）	B	
		児童センター	A	
		青少年活動センター	D	
	団体支援の充実	社会教育課（公民館）	B	
		青少年活動センター	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	「乳幼児の親を支援する事業の充実」に関して、図書館での「おたのしみ会」を通常開催へと戻し、多くの親子の参加があったこと、及び「おはなし会」の実施回数が増加したことは大変有意義なことと考えます。なお、指標として「おはなし会」の事業実施回数だけでなく参加人数の記載もあると、より適切に点検・評価が行えるものと考えます。また、公民館における子育て・家庭支援事業は、実施数が27と充実していますが、具体的な内容について記載があると、より実績や課題及び問題点が明確になると考えます。			
	「小中学校の親を支援する事業の充実」に関して、家庭教育学級の継続的な実施を評価します。乳幼児や児童とその保護者を対象とした事業は、開催に当たり、特に徹底した感染症対策も未だ必要である場合もあり、実施方法の検討が必要になる場面も多いものと推察します。今後、図書館・公民館・青少年活動センター・博物館・児童センターともに、地域の豊かな教育環境のもとで安心して子育てできるよう、より多くの市民が参加する事業の実施を期待します。			

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供					担当課	自己評価
						青少年課	A
取 組 状 況	放課後子ども教室事業の実施（16校）						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	参加を希望する児童の落選者数を削減する。						
令 和 5 年 度 実 績	抽選による落選者数の削減						
指 標 及 び 説 明	【指標】 落選率				【説明】 応募者総数からの落選者数の割合		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		-	平時	平時			
		R 2 有事	10.46	3.9			
		-					
自 己 評 価 の 主 な 理 由	放課後子ども教室のコース数と定員の増等の調整により落選者の削減が図られた。						
課 題 及 び 改 善 点	広報の手段の変更とチラシのペーパーレス化により応募者数が減少したため、広報手段の再検討を行い、応募者数の増加を図る。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供					担当課	自己評価
						博物館	A
取 組 状 況	サイエンスバー、夏休みこどもお茶大学、むかしのくらしと道具展他、博物館ならではの体験事業の実施						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症等に影響されない事業の実施						
令 和 5 年 度 実 績	夏休みこどもお茶大学、「むかしのくらしと道具展」での体験活動の復活や、旧黒須銀行を活用した「大くろぎんまつり」、指定管理者自主事業など多彩な事業を展開した。文化庁から「食文化ミュージアム」に認定されたことに伴い、お茶体験事業も充実させた。						
指 標 及 び 説 明	【指標】 体験事業の実施数				【説明】 体験活動の機会の充実度を判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				指 標 の 推 移
	事業数	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		17	平時	平時			
		R 2 有事	12	21			
		2					
自 己 評 価 の 主 な 理 由	新型コロナウイルスが5類になり、対応策は取りつつも屋外、屋内でさまざまな体験事業を実施することができた。どの事業も多く参加者に恵まれ、市民の体験学習へのニーズを感じられた。						
課 題 及 び 改 善 点	感染症が無くなったわけではないので、屋内において参加者が集中する事業については、市民感情にも配慮した運営が必要である。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供				担当課	自己評価		
					社会教育課（公民館）	B		
取 組 状 況	青少年の創造性や協調性を育む体験事業、自己肯定感を高めるための社会奉仕体験事業を実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	全ての公民館で青少年の創造性や協調性を育む体験事業は実施している。一方、自己肯定感を高めるための社会奉仕体験事業を実施している公民館は少ない。 様々な公民館事業において、青少年がボランティアを体験できるように工夫をしていく。							
令 和 5 年 度 実 績	キッズアートギャラリー、工作教室、科学実験教室を実施。キッズアートギャラリー、文化祭、子ども食堂等で、ボランティア体験の機会を提供した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】体験事業の実施数				【説明】実施数により、体験活動の機会提供の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		35						50
		R 2 有事	41	41				R 8 有事
		5						40
自 己 評 価 の 主 な 理 由	全ての公民館で青少年の創造性や協調性を育む体験事業は実施している。一方、自己肯定感を高めるための社会奉仕体験事業を実施している公民館は少ない。							
課題及び改善点	様々な公民館事業において、青少年がボランティアを体験できるように工夫をしていく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	体験活動の機会提供				担当課	自己評価		
					青少年活動センター	A		
取 組 状 況	七宝焼体験他芸術・文化・生活体験事業等の実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症以降の事業のあり方を整理しつつ、内容及び実施回数の増加が必要。							
令 和 5 年 度 実 績	3事業、15回実施							
指 標 及 び 説 明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による成果数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		779						1,475
		R 2 有事	370	1,385				R 8 有事
		36						0
自 己 評 価 の 主 な 理 由	事業内容の充実、実施回数を増加し、参加者増が図れた。							
課題及び改善点	開催日程の見直し及び事業内容の充実を図る。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							社会教育課（公民館）	A
取 組 状 況	春・夏休みに青少年が学習等に利用できる、「子ども居場所づくり事業」を実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	公民館と地域の方が連携して子どもの見守り等を実施できたことにより、事業の質や効果が高まった。地域の方が日頃の社会教育活動により身に着けた地域・技能を子どもに教える地域還元の場としても有効であった。 子どもの安全のための見守り等は、今後さらに充実させる必要がある。施設全体のフリースペースが限られる中、安全な居場所づくりの工夫が求められている。							
令 和 5 年 度 実 績	春・夏休み「子ども居場所づくり事業」では、一部の公民館において地域の方による見守り・協力の仕組みを実施できた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 こども居場所づくり事業の参加人数				【説明】 参加人数により居場所づくり事業の充実度を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		980	平時	平時				1,200
		R 2 有事	1070	1070				R 8 有事
		335						600
自 己 評 価 の 主 な 理 由	公民館と地域の方が連携して子どもの見守り等を実施できたことにより、事業の質や効果が高まった。地域の方が日頃の社会教育活動により身に着けた地域・技能を子どもに教える地域還元の場としても有効であった。							
課 題 及 び 改 善 点	地区センター化に伴い、4分館が業務委託による管理となったため、4分館で春・夏休み「子ども居場所づくり事業」を実施する場合、所管する地区センター職員が分館に赴き事業を実施する必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							図書館	B
取 組 状 況	青少年が気軽に利用できる環境を整えるとともに、青少年向けの資料の充実を図った。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	青少年を対象とした居場所づくり事業を行うことができなかった。							
令 和 5 年 度 実 績	・ YAフリーボードの設置 ・ 試験前臨時学習室の実施 ・ ティーンズコーナーの充実（ティーンズ書蔵書数 13,361点）							
指 標 及 び 説 明	【指標】 ティーンズ書の蔵書数				【説明】 ティーンズ書の蔵書数により居場所づくりの充実度を判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	冊	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		12,927	平時	平時				16,000
		R 2 有事	14,921	13,361				R 8 有事
		13,160						16,000
自 己 評 価 の 主 な 理 由	・ 主に分館で、青少年に向けたフリーボードの設置や試験前学習室を実施することで青少年が来館しやすい環境を整えた。 ・ 10代発達段階に適した資料の収集と除籍を行い、ティーンズコーナーの充実を図った。コーナーには、埼玉県立高校の司書が選んだイチオシ本を展示することで、気軽に利用できる環境を整えた。また、就職や進学に関する図書の充実を図った。							

課題及び改善点	青少年を対象とした居場所づくり事業を実施することができなかったので、検討する必要がある。
---------	--

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実					担当課	自己評価	
						青少年活動センター	A	
取 組 状 況	むささびひろば、むささび食堂、施設開放を実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症以降の事業のあり方を整理しつつ、内容及び実施回数の増加が必要。							
令 和 5 年 度 実 績	3事業、8回開催							
指 標 及 び 説 明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による成果数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		3,747	平時	平時				2,030
		R 2 有事	1,000	1,888				R 8 有事
		521						263
自 己 評 価 の 主 な 理 由	事業再開に伴い内容の一部見直しを図ったものの、事業参加者数に伸び悩みが見られた。 ※こどもの居場所事業（6 事業）委託はこども支援課へ移管							
課題及び改善点	内容の充実及び実施回数の増加が必要。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実					担当課	自己評価	
						社会教育課（公民館）	B	
取 組 状 況	地域の青少年関係団体と関係機関等との連携を図る。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	青少年関係団体の数そのものが減少している中ではあるが、連携事業の実施等の支援を継続することで会員数の増加が見られた。 今後は新たな青少年関係団体の誕生に向けた支援を行う。							
令 和 5 年 度 実 績	入間市中央少年少女合唱団との共催により「こども合唱教室」を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 連携事業の実施数					【説明】 実施数により支援の充実度を判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1						2
		R 2 有事	1	1				R 8 有事
		1						1
自 己 評 価 の 主 な 理 由	青少年関係団体の数そのものが減少している中ではあるが、連携事業の実施等の支援を継続することで会員数の増加が見られた。							
課題及び改善点	今後は新たな青少年関係団体の誕生に向けた支援を行う。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実					担当課	自己評価	
						青少年活動センター	A	
取 組 状 況	社会教育団体への補助金交付							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	少子化による全体対象者数の減少への対応と活動の活性化。							
令 和 5 年 度 実 績	2団体（青少年相談員協議会・BSGS連絡協議会）に交付							
指 標 及 び 説 明	【指標】 構成員数				【説明】 活動・事業実施の活動者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		203						200
		R 2 有事	202	210				R 8 有事
		209						200
自 己 評 価 の 主 な 理 由	構成員数はほぼ横ばいであり、活動の継続性が保たれている。							
課題及び改善点	少子化等による全体対象者数の減少への対応と活動の活性化。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成				担当課	自己評価		
					博物館	B		
取 組 状 況	高校生・大学生がボランティアとして活躍できる事業を実施し、育成する							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	これまでの実地によるもののほか、オンラインを活用した方法など、実施方法も検討していく必要がある。							
令 和 5 年 度 実 績	学芸員実習生が展示解説の補助や音声ガイドアプリのデータ追加など来館者対応に取り組んだ(大学生5人)							
指 標 及 び 説 明	【指標】 事業への参加人数				【説明】 ボランティア等の育成状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					指 標 の 推 移
	人	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1						5
		R 2 有事	5	5				R 8 有事
		0						0
自 己 評 価 の 主 な 理 由	学芸員実習生は音声ガイドのデータ制作などで成果を残している。高校生については募集や活躍する機会提供が出来なかったためBとした。							
課 題 及 び 改 善 点	これまでの実地によるもののほか、オンラインを活用した方法など、実施方法を検討していく必要がある。また、近隣の高等学校との連携も検討していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成				担当課		自己評価	
					社会教育課（公民館）		B	
取 組 状 況	子ども会のジュニアリーダー養成事業等を実施し、ボランティアの育成を図る。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	金子ジュニアリーダー養成講座（金子公民館）には、延べ240人の中・高校生が、子ども会・ジュニアリーダー支援事業（高倉）には、延べ6人の中学生が参加した。 子ども会が消滅していく中で、スタッフ、リーダー養成事業の実施そのものが困難になっている。市子連と今後の事業の在り方を検討していく。							
令 和 5 年 度 実 績	金子ジュニアリーダー養成講座（金子公民館）、子ども会・ジュニアリーダー支援事業（高倉）を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】ボランティア体験事業の参加人数				【説明】参加人数により、地域のボランティアや青年リーダー育成の進行度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		83	平時	平時				250
		R 2 有事	246	246				R 8 有事
		25						250
自 己 評 価 の 主 な 理 由	金子ジュニアリーダー養成講座（金子公民館）には、延べ240人の中・高校生が、子ども会・ジュニアリーダー支援事業（高倉）には、延べ6人の中学生が参加した。							
課 題 及 び 改 善 点	子ども会が消滅していく中で、スタッフ、リーダー養成事業の実施そのものが困難になっている。市子連と今後の事業の在り方を検討していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成				担当課	自己評価		
					児童センター	A		
取 組 状 況	児童の自主的な意見を運営に取り入れ、児童センターの運営や活動に生かすため、児童が意見を述べる場の提供を目的に、こども運営ボランティア事業を開催している。また、ボランティアの育成を図ることを目的に、長期休業期間中において中学生ボランティアを募集している							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	こども運営ボランティアには近隣の小学生の児童が多いため、今後は広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動などに努めたい。 中学生ボランティアは希望者が多くお断りする件数が多いため、今後は長期休業中以外もボランティアの機会を設けていきたい。							
令 和 5 年 度 実 績	・長期休業期間中における中学生ボランティアの参加人数：119 人（32 回） ・こども運営ボランティアの参加人数：186 人（15 回）							
指 標 及 び 説 明	【指標】 ボランティア体験事業、リーダー養成事業の参加人数				【説明】 事業参加による人材育成を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		67	平時	平時				150
		R 2 有事	220	305				R 8 有事
		34						50
自 己 評 価 の 主 な 理 由	こども運営ボランティアは近隣の小学生の児童が多いが、広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動に努め、参加人数を増やすことができた。							

課題及び改善点	こども運営ボランティア参加者内で当該事業に対する意識の差があるため、こどもたちの要望を踏まえて事業を実施していきたい。
---------	---

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成					担当課	自己評価	
						青少年活動センター	B	
取 組 状 況	青少年企画、体験事業の実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症以降の事業のあり方を整理しつつ、内容及び実施回数の増加が必要。							
令 和 5 年 度 実 績	青少年活動センターフェスティバル（青少年企画・体験事業）の実施							
指 標 及 び 説 明	【指標】参加者数				【説明】事業参加による人材育成を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		114						100
		R 2 有事	0	11				R 8 有事
		0						0
自 己 評 価 の 主 な 理 由	イベント事業で企画運営スタッフを公募し、青少年の事業への参画が得られた。							
課 題 及 び 改 善 点	子ども会等が衰退する中でスタッフ、リーダーの養成そのものが困難になっているため、関係団体と調整を図りながら、担い手養成のための事業を検討し、実施に向けて取り組む。							

施 策		(3) 青少年教育の充実		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	体験活動の機会提供	青少年課	A	A
		博物館	A	
		社会教育課（公民館）	B	
		青少年活動センター	A	
	居場所づくりの充実	社会教育課（公民館）	A	
		図書館	B	
		青少年活動センター	A	
	青少年関係団体の支援の充実	社会教育課（公民館）	B	
		青少年活動センター	A	
	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成	博物館	B	
		社会教育課（公民館）	B	
		児童センター	A	
青少年活動センター		B		
学 識 経 験 者 等 意 見	体験活動の機会・参加者が、博物館、公民館、青少年活動センターともに増加しているのは大変評価できる点だと考えます。青少年課が御担当の放課後子ども教室事業の実施については、改善点に応募者数の減少があることから、落選者の削減はその影響もあるように読み取られかねませんので、今後は定員の調整とともに応募者増加への働きかけも期待します。 体験活動も含めて、市として青少年の居場所づくりに心を砕く姿勢には頭が下がります。ただ図書館において、青少年を対象とした居場所づくり事業が実施できていないことが大変もったいなく感じます。整えた環境を活用した事業の実施に期待します。 「青少年関係団体の支援の充実」及び「青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成」に関しては、青少年が活躍・成長する場として大変重要な事業です。少子化により、これまでの組織のありかたを見直さざるを得ない中、御苦勞を拝察いたします。その中で児童センターでのボランティアが増加したことは喜ばしいことと考えます。博物館については、次の施策（4）ともかかわりますが、市民の理解を得る上でも、学芸員実習生以外の大学生や高校生が活躍できる事業の企画により、次代の担い手である青少年が文化財や博物館そのものの意義を体験的に認識する機会をもつことが望まれます。今後も意欲ある人材を上手く活用した事業の実施を期待します。			

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	指定文化財等の保護					担当課	自己評価	
						博物館	A	
取 組 状 況	新たな指定文化財の指定に向けた取組みを行った。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	継続的な調査・研究により文化財の価値を掘り起こし、情報として発信していくことで、市民の方の文化財保護意識の向上につなげていく必要がある。							
令 和 5 年 度 実 績	前年度に答申を受けた文化財1件について、新たに市指定文化財の指定を行った。また、市文化財保護審議委員会において、2件の文化財の審議を行い、1件について新規指定に係る答申を受けた。なお、保存が必要な事業に対しては、補助金等を活用することで保存を図った。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 指定文化財等の件数				【指標】 指定文化財等の件数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件（累計）	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		78						84
		R 2 有事	79	80				R 8 有事
		79						－
自 己 評 価 の 主 な 理 由	新たな指定文化財を指定するとともに、当該文化財の特別展示を開催することで、指定文化財の魅力を市民に発信することができた。また、補助金については、国の補助金を活用することで、所有者等の負担軽減を図ることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	調査・研究により文化財の価値を掘り起こし、指定文化財に指定して保護するとともに、情報として発信していくことで、市民の文化財保護意識の向上につなげていく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	文化財保護啓発事業の実施					担当課	自己評価	
						博物館	A	
取 組 状 況	市民の郷土への理解を高めるために、身近な文化財を活かした事業を実施した。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	様々な場面を捉えて身近な文化財の情報を発信し、市民の方々が日常的に文化財に親しむ環境を整備していく必要がある。							
令 和 5 年 度 実 績	新規指定文化財を中心にした企画展を博物館で開催し、併せて無形民俗文化財の上演も行った。地域の大切な文化財を火災から守るために、地域と連携した文化財防火訓練を実施した。また、文化財関係の講座を年7回実施した。延べ参加者は1,066名だった。							
指 標 及 び 説 明	【指標】文化財保護啓発事業への参加人数					【説明】市民の文化財保護意識の高まりを判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		149	平時	平時				250
		R 2 有事	132	1,066				R 8 有事
		95						120
自 己 評 価 の 主 な 理 由	貴重な文化財を実際に見てもらう機会を作ること、多くの人に文化財の魅力を伝えることができた。また、防火訓練を通じて、地域で文化財を守っていく気持ちを醸成することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	様々な場面を捉えて身近な文化財の情報を発信し、市民の方々が日常的に文化財に親しむ環境を整備していく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、
伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	近代化遺産の保存・活用						担当課	自己評価
							博物館	B
取 組 状 況	旧石川組製糸西洋館及び旧黒須銀行の保存活用に向けた事業を実施した。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	両施設とも今後も積極的に情報を発信するとともに、新たな魅力を掘り起こし伝えていくことで、将来にわたる保護保存につなげていく必要がある。							
令 和 5 年 度 実 績	西洋館では、一般公開やイベントの実施し、来館者は2,972名であった。また、旧黒須銀行では、工事前の特別公開やイベントにより、1,341名の来館者があった。なお、旧黒須銀行については、復元修理工事にに向けた取り組みを進めた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】西洋館・旧黒須銀行の来館者数				【説明】近代化遺産の活用状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		4,656						8,000
		R 2 有事	6,437	4,313				R 8 有事
		1,610						2,000
自 己 評 価 の 主 な 理 由	西洋館では、一般公開やイベントの実施、撮影等の貸出を通して、市内外へ建物の魅力を伝えることができた。旧黒須銀行については、復元修理工事前に地元を中心に情報を発信することで、地域における保存活用に関する意識を高めることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	効果的な情報の発信や魅力的なイベントの実施を通じて、実際に来館してもらう機会につなげていく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	埋蔵文化財の保護					担当課	自己評価	
						博物館	A	
取 組 状 況	埋蔵文化財の調査を実施し、報告書を刊行した。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	発掘調査に対応できる調査体制の整備（調査員の継続的な育成）が必要である。また、埋蔵文化財の価値・魅力を継続的に発信していく取り組みも必要である。							
令 和 5 年 度 実 績	埋蔵文化財包蔵地において開発に先立ち試掘調査を 10 件実施し、調査結果をまとめた報告書を刊行することで、埋蔵文化財の適切な保護を図ることができた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】埋蔵文化財の報告書刊行数				【説明】埋蔵文化財の適切な保存状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	回 (累計)	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		40						49
		R 2 有事	43	44				R 8 有事
		41						-
自 己 評 価 の 主 な 理 由	開発原因者との緊密な調整、調査への円滑な対応により、埋蔵文化財包蔵地における全ての開発行為に対して調査を実施し、報告書として記録保存することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	発掘調査に対応できる調査体制を整備するとともに、調査により新しく分かった情報を発信していく取り組みが必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	伝統文化活動団体の支援の充実					担当課	自己評価
						社会教育課	B
取 組 状 況	入間市郷土芸能連合会のうち、郷土芸能 10 団体へ助成金を分配した。						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	入間市郷土芸能連合会の会員総数はわずかながら減少しているため、引き続き助成を続けていく必要がある。						
令 和 5 年 度 実 績	入間市郷土芸能連合会のうち、博物館が管轄する指定無形民俗文化財以外の郷土芸能 10 団体へ助成金（1 団体 15,000 円）を分配した。						
指 標 及 び 説 明	【指標】 会員数合計				【説明】 10 団体の会員数の合計		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
		400	平時	平時			
		R 2 有事	391	391			
		396					
						400	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	会員総数がわずかながら減少しているため。						
課 題 及 び 改 善 点	入間市郷土芸能連合会の会員総数はわずかながら減少しているため、引き続き助成を続けていく必要がある。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【政策】第1次文化政策				
施 策	(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	指定文化財等の保護	博物館	A	A
	文化財保護啓発事業の実施	博物館	A	
	近代化遺産の保存・活用	博物館	B	
	埋蔵文化財の保護	博物館	A	
	伝統文化活動団体の支援の充実	社会教育課	B	
学 識 経 験 者 意 見 等	文化財保護に関しては、適切に実施できていると評価します。 本年度、文化財保護啓発事業に、大変多くの市民に参加していただいたことを大変喜ばしく思います。文化財の保護及び活用に関しては、市民の理解と協力が重要であるため、引き続き市民の意識を高める事業の実施に期待します。			

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主 な 取 組	博物館施設の充実					担当課	自己評価
						博物館	B
取 組 状 況	計画的な修繕を実施。館庭の活用方法検討と利用促進に取り組む。						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	経年劣化により建物や設備に不良や修繕が必要な箇所が多発している。全体的な改修が必要であるが、財源が限られていることから、優先度をつけて対応せざるを得ない状況にある。						
令 和 5 年 度 実 績	必要となる修繕については、予算の範囲において優先順位をつけて、適切な対応を行った。令和5年度の修繕の実施件数は18件だった。						
指 標 及 び 説 明	【指標】市民意識調査の満足度				【説明】市民意識調査の結果から判断		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	指数	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8
		0.197	平時	平時			
		R2有事	0.185	—			
自 己 評 価 の 主 な 理 由	予算の範囲において必要な修繕を実施することができた。なお、開館29年を経過し劣化した正門前の看板を全面リニューアルして視認性を高めたことで、PRにつなげることができた。						
課 題 及 び 改 善 点	現在の修繕料の予算では、対応できない設備不良が発生している。特に空調設備については、博物館の機能維持に不可欠なことから、早急な対応が必要となっている。						

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主 な 取 組	図書館施設の充実					担当課	自己評価
						図書館	A
取 組 状 況	指定管理者及び各施設管理者と連携・協力して管理運営を行うとともに、十分な協議を行い、快適な読書環境の整備に努めた。						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	西武分館の空調設備工事を継続するとともに、各館でも快適な読書環境の整備に努める。						
令 和 5 年 度 実 績	・西武分館1階カウンター、事務室、2階学習室の空調設備工事を実施した。 ・全館で館内の特定の場所での水分補給を可能とすることとした。						
指 標 及 び 説 明	【指標】社会教育施設に関する市民満足度				【説明】市民意識調査の結果から、施設やサービスの充実が図られているかを判断する。(施設の利用状況「利用している割合」)		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	%	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8
		42.0	平時	平時			
		R2有事	37.9	—			
自 己 評 価 の 主 な 理 由	・西武分館では、昨年に引き続き空調設備工事をを行い、快適な読書環境を整えることができた。 ・全館で館内での水分補給を可能としたことで、読書環境の整備をすることができた。						
課 題 及 び 改 善 点	西武分館の空調設備工事を継続するとともに、各館でも快適な読書環境の整備に努める。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

【施策】 (1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 0

主 な 取 組	公民館施設の充実						担当課	自己評価
							社会教育課（公民館）	B
取 組 状 況	利用しやすい施設づくり							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	本来は、設備が故障する前に保全修繕を実施する必要があるが、例年、修繕費予算の査定が大幅に削減されるため、設備が故障してからになってしまっている。							
令 和 5 年 度 実 績	令和5年度から施設の管理が地域振興課になったが、連携して、空調設備修繕工事、トイレのバリアフリー化などを計画的に実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 社会教育施設に対する市民満足度				【説明】 市民意識調査の結果から判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	満足度	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		0.291	平時	平時				0.320
		R 2 有事	0.297	0.297				R 8 有事
		—						0.300
自 己 評 価 の 主 な 理 由	令和5年度から施設の管理が地域振興課になったが、連携して、空調設備修繕工事、トイレのバリアフリー化などを計画的に実施した。							
課 題 及 び 改 善 点	工事期間中のサークル活動や公民館事業の継続について、施設管理を担当する地域振興課と更なる連携を図っていく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

【施策】 (1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 0

主 な 取 組	青少年活動センター施設の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
取 組 状 況	計画的な修繕の実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	老朽化施設の安全性の確保と現代的な環境に見合った施設改修の実施							
令 和 5 年 度 実 績	緊急性の高いものから計画的に修繕を行った。カシナガ被害による枯損木の伐採を行った。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 設定困難				【説明】 —			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	—	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		—	平時	平時				—
		R 2 有事	—	—				R 8 有事
		—						—
自 己 評 価 の 主 な 理 由	計画的に修繕等を行い、利用者の安全確保を徹底した。							
課 題 及 び 改 善 点	施設の老朽化のため、安全性を確保する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

施 策	(1) 施設の充実・最適化			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	博物館施設の充実	博物館	B	A
	図書館施設の充実	図書館	A	
	公民館施設の充実	社会教育課（公民館）	B	
	青少年活動センター施設の充実	青少年活動センター	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	各施設の市民の利用を促進するためには、適切な環境整備・管理運営等が必要であると考えます。博物館においては、文化財の保存という観点からも空調等の設備の整備は切実な問題であると懸念いたします。引き続き計画的な修繕・維持管理等に努めていただくとともに、さらなる充実した対応ができるよう、本市においては予算確保に努めていただくことを期待します。			